



令和8年度

魚津地区建設工事関係者連絡会議

を開催しました。

令和8年6月18日に魚津合同庁舎会議室にて、新川地区の公共工事発注機関及び建設業関係団体等を構成員とする魚津地区建設工事関係者連絡会議を開催しました。本会議は、魚津地区の公共工事発注機関、建設関係団体、当署の三者が相互に連携し、労働災害防止対策をはじめとした適正な労働条件の確保を図るための会議として、平成27年度から毎年開催しているものです。

会議では、当署安全衛生課担当者から、労働災害発生状況を説明した後、安全衛生に配慮した設計や、工事箇所等に関する事前調査結果を確実に施工業者に提供すること等を公共工事発注機関に求めました。

また、当署署長より、昨年6月に改正された熱中症に係る労働安全衛生規則を踏まえ、建設現場における熱中症対策の取り組みについて事例紹介を行いました。

その後、各機関の担当者から労働災害防止に係る取組などの説明が行われ、意見交換を行いました。

魚津労働基準監督署管内においては、令和7年に建設業において労働災害により亡くなった方は1名、休業4日以上労働災害に被災された方は26名となっております。悲惨な災害が0となるように、改めて三者で協力していくことを確認しました。



↑熱中症対策事例集



↑魚津署説明資料抜粋

